

見た目の良さと使いやすさを備えた 水栓で暮らしに彩りを

～住宅の水まわりを床上から床下までプロデュース～



株式会社 KVK

代表取締役社長

末松 正幸氏

- 住所：加茂郡富加町高畑字稲荷641番地
- TEL：0574-55-1120
- URL：<http://www.kvk.co.jp/>
- 事業内容：家庭用の浴室・キッチン・洗面化粧台に使用するサーモスタットシャワー、シングルレバー等の湯水混合水栓、湯・水の配管用継手、配管システムの製造・販売
- 従業員数：794人(連結1,256人)

■ 鋳物職人による「北村鋳造所」が始まり 名古屋市から岐阜市へ、そして富加町へ

聞き手：まずは御社の歴史について教えてください。

末松社長：創業は昭和14年、「北村鋳造所」として名古屋市昭和区御器所町でスタートしました。今年がちょうど80周年となります。

創業者は山県市美山の出身ですが、夫人は岐阜市黒野の出身で、戦時中にそちらへ疎開したことが縁で、黒野地区に工場を設立しました。当初はバルブコックの製造が主とはいえ、鋳造所という名前の通り、鋳物であればアイロンの類なども作っていたそうです。

水栓器具は鋳造後に切削加工、研磨、メッキをして組み立てて、といった工程で製造するわけですが、「メッキをしたら不具合が出た」というのでは前工程が無駄になってしまいます。ですから鋳造工程はとても大切です。

聞き手：社長へのご就任は10年ほど前だと伺いました。

末松社長：ちょうど、同じ規模の同業他社を吸収合併した頃でした。昨日までライバルだった人間が同僚になるわけですから、3年から5年は、社員皆にやる気を出してもらえよう特に気を配りました。次は岐阜市黒野から富加町へと本部機能も含めた移転があり、やっとひと段落したところです。

■ 「蛇口」の国内シェアは20%以上

聞き手：事業内容についても詳しくお聞かせください。

末松社長：当社が製造・販売しているのは、水道メーターから住宅へとつながっている水道の配管や継手管、そして蛇口等の一式です。床下、床上で活躍する様々な製品があり、ラインナップとしては1万点くらいあるでしょうか。

販路は住設メーカー等に部材として販売するルートと、街の水道工事屋さんへ販売している代理店、そしてホームセンターという3つが主となります。

聞き手：製品を拝見すると、蛇口と一口に言っても、インテリアにマッチするものなど色も形も様々ですね。

末松社長：蛇口は、例えばスマートフォンのように次々と機能が進化するような製品ではなく、現状の仕様で既に必要な機能を備えています。ですから、デザインや使いやすさ、コスト面などに力を入れています。

ちなみに当社の国内シェアは数量ベースで約23%です。当社以外にも蛇口メーカーがありますので、意外と知られていませんが、岐阜県は水道関連部材のシェアが高いのです。

■ 熟練された技術が光る水栓 “他流試合”で切磋琢磨

聞き手：昭和33年には本社工場が「JIS表示許可工場」となったということですが、早くから工業規格にも注目され



【写真左】砂型鑄造。

【写真右】曲線美が目を引きKM6061ECシリーズ。「グースネック」タイプのため、見た目がエレガントなだけでなく、大きな鍋やフライパンなどを楽に洗えるという使い勝手の良さも。吐水はシャワーとストレートに切り替えられるほか、ヘッドを引き出すこともできる。



ていたのですね。製品のデザインはどのように決まるのでしょうか。

末松社長: デザインは社内にもチームがありますし、社外の方も借りたりします。台所まわりは女性の意見が大切ですから、開発チームにはもちろん女性が所属していますし、試作品については、社員の意見も聞けるよう、社内に取り付けたりもします。また、住設メーカーの意見を聞いてブラッシュアップすることも多いですね。

自動化した装置で作った製品よりも、機械では作れないような手間のかかった製品の方がデザイン性は高く、多少値が張ったとしてもお客様には喜ばれるのです。ただ、そういった製品を作るには、やはり技術が必要です。そこで、改善をチームワークで行う「NPS研究会」に所属しています。主な活動は、異業種混成チームに各社1人ずつ参加し、他社の工場で見つけ出すというものです。私は他流試合と呼んでいます。社員に勉強させてもらうだけでなく、当社にも訪問してもらいますから、社内のレベルも上げていかなければいけません。スキルアップのために勉強会をするなど、切磋琢磨する良い機会になっています。

聞き手: 改善ワークが人材育成にもつながっているのですね。その他、課題などはいかがでしょう。

末松社長: 個人的意見ですが、岐阜の人はものづくりにはとても向いていると思っています。その一方で、営業の面では弱いように思います。

技術者の育成は、日々先輩と仕事をする中で技術を磨いていくOJTが中心です。一方で、営業部門の社員育成というと、業務の中でお客様に育てていただいているような部分もあります。もっと強化していくためにも、会社で独自の研修施設を作りたいと考えています。

■ 日本製品の良さをアジアの市場にも

聞き手: 今後の展開についてはいかがでしょうか。

末松社長: 「製造部門の自動化」が重要なキーワードだ

と思っています。新しい技術は大胆に取り入れていきたいですね。ヨーロッパの展示会などにも出向き、水栓製品や市場の動きにアンテナを張っています。

また、最近ではインバウンド市場の流れで、日本製品の良さが海外の方に認知されてきました。中国の大連に2工場、そしてフィリピンにも工場がありますので、特にアジア圏に向けて、最適地生産でコストを抑えるなど工夫しながら販売していきたいです。私自身、海外出張の際には水栓事情で不便さを感じたこともあります。

また、国内では住宅のアフターメンテナンスとして修理、取り替えといった需要にきちんと対応していくことが大切だと思っています。販売シェアの高い地域と低い地域がありますので、低い地域も伸ばしていきたいと思っています。そのためにも、営業部門の研修を強化していきたいところです。どちらも派手なことではないのですが、着実に進めていきたいですね。

そして、「他社との差別化」です。例えばお年寄りには、お風呂の水栓のハンドルを回すことも不便だったりします。そこでボタンを押すだけ、センサーで触れるだけで調節ができるようにするといった具合に、使う人の目線で使いやすさをもっと追求していきたいですね。

聞き手: 最後に、ご趣味や週末の過ごし方についても聞かせてください。

末松社長: 子どもが3人いますが、一番下の息子が就職しましたので、休日は妻と2人で過ごすことが多くなりましたね。たまには旅行も行きます。

昔はテニスやスキー、ゴルフをやっていましたが、子どもが小さいうちは、家族で過ごす時間を大事にしてきました。これからは、自分の為に使える時間が増えるので楽しみです。週末は結構忙しいですよ。

聞き手: 本日は貴重なお話をありがとうございました。

聞き手 (一社)岐阜県経営者協会 事務局長

長谷部 基司 氏

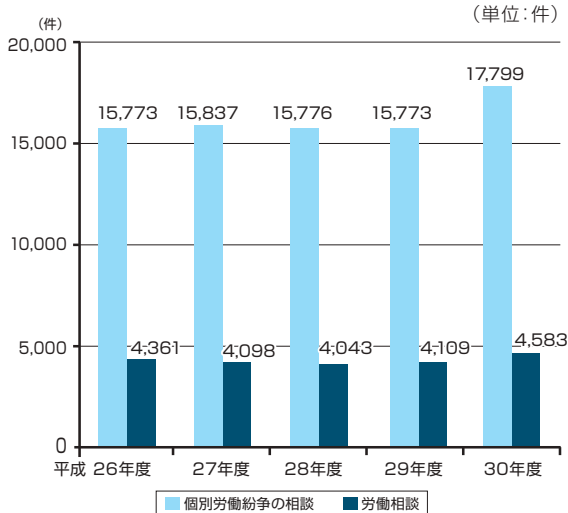
【平成30年度 岐阜労働局における各種の相談状況】

個別労働紛争の発生状況

平成30年度の総合労働相談件数は17,799件(前年度比2,026件増)、そのうち、個別労働紛争相談件数は4,583件(同474件増)となった。

個別労働紛争における相談内容は「いじめ・嫌がらせ(1,554件)」が「退職勧奨・雇止・内定取消・自己都合退職(1,457件)」を抜いてトップになった。

労働相談件数の推移



※個別労働紛争の相談件数は内数。

個別労働紛争相談内容

	平成30年度	平成29年度	前年度比
いじめ・嫌がらせ	1,554	1,351	+203
退職勧奨・雇止・内定取消・自己都合退職	1,457	1,542	-85
解雇	530	478	+52
労働条件引下げ	469	500	-31
出向・配転・昇給昇格・懲戒	268	297	-29
その他	1,524	1,237	+287

※内容毎に複数件数計上のため、合計と一致しない。

男女雇用機会均等法に係る相談状況

平成30年度に岐阜労働局に寄せられた相談件数は318件。相談内容の内訳は右表の通りで、「妊娠・出産等を理由とする不利益取扱い」が102件で最も多く、次いで「セクシャルハラスメント」が101件、「母性健康管理」が41件となっている。

相談内容の内訳

	件数	
	件数	構成比
妊娠・出産等を理由とする不利益取扱い	102	32.1%
セクシャルハラスメント	101	31.8%
母性健康管理	41	12.9%
妊娠・出産等ハラスメント	39	12.3%
性差別	19	6.0%
その他	16	5.0%
合計	318	100.0%

※構成比は四捨五入のため、合計値と一致しない。

資料出所:岐阜労働局からの情報提供

【岐阜県における高校生の就職内定率は3月末時点で99.7%】

岐阜労働局の発表によると、平成31年3月末現在の高校生の就職内定状況は、求職者数が4,214人、就職内定者数4,200人で、就職内定率は99.7%となった。なお求人倍率は前年同期比0.33ポイント増の2.70倍となっており、7年連続の上昇。県内就職率は同1.2ポイント減の71.6%だった。

新規高校卒業者の職業紹介状況

	卒業予定者	就職希望者数	就職内定者数	就職内定率
平成30年度(平成31年3月卒)	19,416人	4,214人	4,200人	99.7%
平成29年度(平成30年3月卒)	19,324人	4,115人	4,111人	99.9%
前年同期比	+92人	+99人	+89人	-0.2ポイント

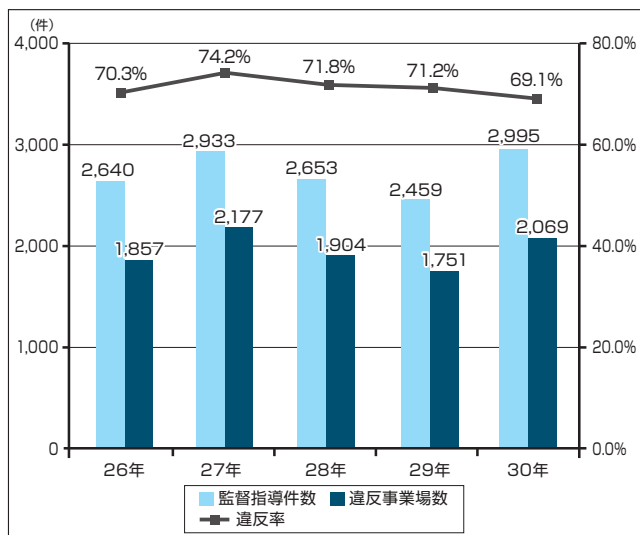
資料出所:岐阜労働局「新規学校卒業者(中学・高校)の職業紹介状況(平成31年3月末現在)」

【岐阜県内の監督指導状況 送検件数は過去5年で最高に】

岐阜労働局は、平成30年に県内の事業場に対して7つの労働基準監督署が実施した立入調査等（監督指導）と司法事件の結果を取りまとめた。

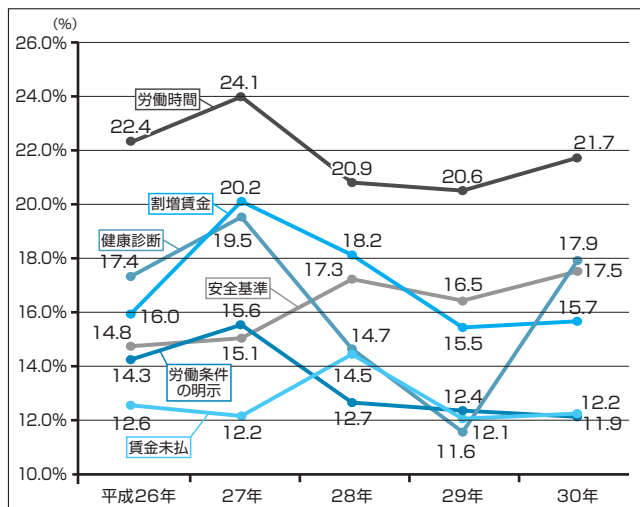
平成30年は県内2,995事業場に対して監督指導を実施し、このうち2,069事業場で法令違反を確認。違反率は前年に比べ2.1ポイント低下し、5年ぶりに70%を下回る69.1%となった。

■ 過去5カ年の監督指導結果



主な違反事項別では、労働時間が違反率21.7%で最高。次いで前年から6.3ポイント上昇した健康診断が17.9%だった。業種別では、保険衛生業78.3%、製造業と運輸交通業が76.4%となっている。

■ 過去5カ年の主要違反事項の推移



なお法違反の内容が重大または悪質な事案32件については、検察庁に送検された。この数は昨年度より16件多く、過去5年間では最高となった。

資料出所：岐阜労働局「労働条件等の監督指導結果（平成30年）を公表」

労働行政リーダー ヘッドライン

県が「岐阜県中小企業支援施策利用ガイドブック（2019年度版）」を作成

主に中小企業者が中小企業支援施策を利用する際の手引書として、主な施策（県や県の外郭団体等が実施しているもの）の概要を紹介。岐阜県のホームページで閲覧できる。

資料出所：岐阜県「岐阜県中小企業支援施策利用ガイドブック（2019年度版）」を作成しました

「2018年版ものづくり白書」まとまる

政府がものづくり基盤技術の振興に関して講じた施策に関する報告書。今回は特に「大規模な環境変化に伴って全ての経営者が持つべき4つの危機感」として、主要な課題と対応策として先進150事例を紹介。経済産業省のホームページで閲覧できるほか、書店でも購入できる。

資料出所：経済産業省「2018年版ものづくり白書」概要

平成30年の人口 前年より44万8,000人減少

出生数は92万1千人（対前年約2万5千人減）、死亡数は136万9千人（同約2万9千人増）で自然増減数は44万8千人減と推計される。この自然増減数は平成19年から減少に転じ、年々減少幅が拡大している。

資料出所：厚生労働省「平成30年（2018）人口動態統計の年間推計」

平成30年の賃金・労働時間・雇用状況

現金給与の総額は1.4%増（一般労働者1.6%増、パートタイム労働者1.3%増）、総実労働時間は0.8%減（所定内0.8%減、所定外1.4%減）。常用雇用は一般労働者0.5%増、パートタイム労働者2.4%増となった。

資料出所：厚生労働省「毎月勤労統計調査 平成30年分結果速報」

<岐阜労働局からのお知らせ>

令和元年度 全国安全週を迎えるにあたって スローガン

「新たな時代にPDCAみんなで築こう ゼロ災職場」

本年度も「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的として「全国安全週間」が7月1日から7月7日まで実施されます。労働災害防止の重要性について経営トップの認識をさらに深めていただき、経営トップと労働者で職場の安全点検を行う等、安全活動を着実に推進していただきますようお願いいたします。